

## **第2回斐伊川水系中流支川域川づくり検討委員会 議事要旨**

日 時：平成28年7月15日（金）10：15～12：00

場 所：雲南合同庁舎

出席者：別添出席者名簿のとおり

報 道：1社            傍聴者：無し

### **【議 事】**

#### **1. 第1回委員会意見について**

資料-1 について事務局より説明

#### **2. 住民意見聴取（アンケート）集計結果について**

資料-4（P85～130）について事務局より説明

### **■議事 1、2 について質疑**

- ・「いづもナンキン」【資料-4 P35 表 5】はひらがなかとカタカナが混じっているが正しい名称か。  
→出典元に根拠を確認する。
  
- ・アンケート Q3『身近な川で、大雨の時に危険を感じたことはありますか』【資料-4 P89、90】の回答の傾向として、『「感じる」、「感じない」が占める割合は概ね同程度である』とあるが『「感じる」が多い』が適切ではないか。  
→適切な表現にする。
  
- ・アンケート Q4 の回答『草木が茂っている』【資料-4 P90】の割合の算出根拠(分母)を示して欲しい。  
→P89『感じる』と回答のあった 2,605 人を分母とし、『草木が茂っている』と回答があった 1,495 人での割合が 57.4%としている。
  
- ・アンケートをどのように公表するのか教えてほしい。  
また斐伊地区内の結果を、地元で活用したいので、資料を提供してもらえるか。  
→まず、県の HP で公表したい。関係市町とも協議し、その他の公表方法も検討したい。依頼があればアンケート資料の提供も行う。

- ・防災面で考えると、アンケートの危険を『感じない』といった回答が重要。阿用川など『感じない』が多かった。河川管理者としての考察を聞きたい。  
→現況河川の治水安全度は様々な評価方法があるが、県内河川における一定レベルでの河川整備の進捗状況は3割程度であり、それに比べ、阿用川は高い整備状況である。その状況がアンケート傾向に出ていると考える。
- ・アンケート Q12 防災減災に有効な手段【資料-4 P105】の回答『携帯電話』は年代別での分析を教えてください。  
→集計し資料に追加したい。
- ・アンケート配布対象である雲南市の自治会の加入率を教えてください。  
→アンケート資料に追記する。

### 3. 斐伊川水系中流支川域河川整備計画（原案）について

資料-2~4 について事務局より説明

#### ■議事3 について質疑

(本文【資料-3】、付属資料【資料-4】の表現、名称、追加項目についての指摘)

- ・「ホテルの里づくり」【資料-3 P2】が進められているは、「ホテルの里づくり事業」
- ・「環境基準を満足しており」【資料-3 P15】という表現が気になる
- ・入間（いりま）→（いるま）【資料-3 P4】ではないか？ 資料-4 P46 では（いるま）となっている
- ・【資料-2 P21】の魚類に「うなぎ」を入れてもいいのでは、また昆虫類に「ハチ」がない  
→全体的に資料の確認をする。

### 4. 斐伊川水系中流支川域河川整備計画策定スケジュールについて

資料-5 について事務局より説明

## ■全体をとおして質疑

- ・アンケート結果は、事務局としてどのような意見をもたれたのか。  
→日頃の要望と同様な傾向が見られた。管理河床に対し護岸の根入れが不足している箇所もみられるので、専門的な知見を取り入れたうえで対応したい。
- ・災害の意識は高いが、高齢者は洪水時に、実際に川を見に行き確認する傾向があるので事故にあうリスクが生じる。「インターネットにも弱い」、「有線にしても耳が遠い」、「認識できない」といった面があるので、「本当に危ないのが目に見える工夫」、例えば危険水位をいろんな箇所に明示するなど、具体的な対応を検討してほしい。  
→掲載していない多数の自由意見の中にも、同様の意見が多くあり、高齢者への具体的な対応を今後検討していく必要がある。
- ・漁協としては、広葉樹の整備に関する記述がないことが気になる。広葉樹の整備も記載してほしい  
→本文等に追記したい。
- ・「大東ホテルの里づくり」などの活動でホテルが段々増えてきた。それに伴い観光客も増えているので、「成果が出た」という表現を追加してもらいたい  
→本文等に追記したい。
- ・H27 国勢調査【資料-4 P25】を反映して欲しい。  
→公表値の発表が計画策定に間に合えば反映したい。
- ・アンケートの場合、抽象的な表現を使う場合は、複数回答にするのはやめたほうがよい  
→今後のアンケートの参考にしたい。